

科目名	声楽実習 B, E	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	平尾 憲嗣	単位	1	年次	1

### ＝授業科目の目標＝

発声や外国語における舞台語等、声楽の基礎知識を学びかつ実践することを通じ、卒業後教職や生涯教育の場における合唱指導、声楽指導等に役立てることが出来る。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

- ✓ 体調管理に十分留意し、健康な状態で授業に参加すること。
- ✓ 欠席する場合は、ガイダンス時に告知するアドレス宛、必ず一報を入れること。また、出席が3分の2に満たない場合は、単位を認定しない。
- ✓ 飲食の禁止（止むを得ない水分補給は除く）、携帯電話・パット等の端末の使用禁止。
- ✓ 毎授業で取り上げた楽曲を教員のアドバイスを踏まえ歌えるようにする等、復習を行うこと。また、毎授業最後に、次回授業で取り上げる教材の配布や簡単な説明を行うので、音取り等の予習も行うこと。
- ✓ 第2回目以降、簡単な体ほぐし → 発声・コンコーネ 50 番の中の楽曲を歌唱 → 説明ならびに実習 というように授業を進行する。実習では、履修者全員で歌うだけでなく、独唱する時間も設ける。

### ＝授業内容＝

- 第01回 ガイダンス(授業内容の確認、質疑応答)等
  - 第02回 声楽の基礎(姿勢、発声法、呼吸法等)、母音唱(コンコーネ 50 番)
  - 第03回 イタリア歌曲①発音の基礎、実習
  - 第04回 イタリア歌曲②、実習
  - 第05回 イタリア歌曲③、実習
  - 第06回 日本歌曲①発音の基礎、実習
  - 第07回 日本歌曲②実習
  - 第08回 日本歌曲③実習
  - 第09回 ドイツ歌曲①発音の基礎、実習
  - 第10回 ドイツ歌曲②実習
  - 第11回 ドイツ歌曲③実習
  - 第12回 フランス歌曲①発音の基礎、実習
  - 第13回 フランス歌曲②実習
  - 第14回 フランス歌曲③実習
  - 第15回 まとめ(第2回から第14回で取り上げた楽曲から一曲を選択し、皆の前で披露する)
- ※履修者人数や、履修者の学習の進捗状況に応じて、内容の変更もあり得る。

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

- ✓ 「まとめ」における歌唱(授業内で教員がアドバイスした内容を踏まえ、声楽的にかつ音楽的に歌えているかを評価…50%)
- ✓ 平素の出席状況や授業に取り組む態度 等(50%)

### ＝テキスト(必携)＝

特になし(後述のプリントを綴るための A4 判ニ穴ファイルを購入し、持参すること)  
教材(プリント)は都度配布する。